

平成 27年2月26日 00210号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【剣道情報】平成 26 年度初心者剣道教室を開催！

去る平成27年2月14日(土)北見市武道館 道場2において「平成26年度 初心者剣道教室」を開催いたしました。昨年に引き続き今回2回目となる初心者教室ですが、参加対象をこの春新小学一年生になる児童からと若干広めたところ総勢23名の児童にて教室を開催することが出来ました。北見地方剣道連盟金子罔繁会長より、この機会を通して剣道とは何か、どんなものかを少しでも経験

してもらいたいと挨拶がありました。早速教室が始まり、裸足になって道場2の無垢材の床の温もりを感じながら足運びの練習から行い、立礼、座礼の方法も教わり、最後には竹刀を握り、防具を付けた少年部の子供達に向けて伸び伸びと、大きな声で元気いっぱい竹刀を振っていました。(北見地方剣道連盟佐藤素子)



【柔道情報】

公財)北見市体育協会スポーツ団体強化育成事業「柔道選手強化講習会」開催！

2月21日(土)22日(日)の2日間にわたり北見市武道館に於いて北海道警察本部より講師5名を招き「平成26年度北見市柔道協会選手強化講習会」が行われました。対象は小・中学生、高校生まで約120名が参加しました。講習会の1日目は「立ち技」で、打込みの基本や乱取稽古を行い、2日目は「固め技」、抑え込みの基本から応用まで、全道トップクラスの指導者5人の得意技や心構えの指導を受け、子供たちは目を輝かせ熱心に受講していました。



平成26年度北見市柔道協会選手強化講習会



連載 「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>

<序文>2

ここに一言にして、指導上の所信を述べると、指導者は、ただ己の全部を以て後進者の向上の礎となれ、ということである。これが私の指導者としての信念である。自ら反省し自ら修養に勉めて、己の全体をそのまま後進者の修養に提供する一この外に何も無いのである。従って、後進者が、じぶんの提供した全部を素直に受入れてくれ、それによって熱心に修行してくれれば、指導者としてこの上の楽しみはない。それさえあれば、自分の疲労も苦心もすべて忘れられる。更にまた、後進者が、自分の指導その効を奏して、技術に精神に駈々乎として進歩するのを見る時は、実に無限の喜びである。かかる時、我等は指導者となった事を感謝せずにはいられない。修行者の中から優秀な人が澤山出る。而も自分よりズッと優れている。これがまた無上の楽しみである。私は時々考えることがある。若しも自分が指導した人達が、皆自分より劣った人達ばかりであつたらどうであろうと、それは、実に淋しいものであろう。幸いにも自分は、まだ、そういう淋しさを知らずにいる。この点、われながらひそかに心強さを感じている次第である。つづく